

我が国の地域間連系線等の現状

○の数値は最大需要電力(H1) (北海道は冬ピークのため2010年度実績のみ記載)。

○の間の線は地域間連系線等の送電容量を表す。

送電容量の数値は、会社間連系設備としての設計上の送電能力を表したもの。

実際の系統運用における送電可能量(運用容量)は、設備故障を考慮した通過電流制約、安定度制約等により制約され得る。

(出所)電力系統利用協議会、「連系線整備(建設・増強)に関する勉強会とりまとめ報告書[資料編]」、平成19年2月より作成。

